

恵みによって生き、からだを認識する

聖書：Ⅰコリント 15:10. Ⅱコリント 12:9. 13:14. 啓 22:21. ローマ 12:4-5. Ⅰコリント 12:12

I. わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するための生活をするために、神のエコノミーの中で神の恵みによって生きる必要があります——Ⅱコリント 12:9. 13:14 :

A. 恵みとは、父、子、霊の三つの面の具体化における三一の神の現れです——14節.
民 6:22-27. 詩 36:8-9 :

1. 恵みとは、源としての御父によって、要素としての御子によって、適用としてのその霊によって、信者たちの中に分与される、肉体と成った三一の神です——Ⅱコリント 13:14 :

a. 恵みの源、恵みの要素、恵みの適用は、神聖な三一の三つのパースンであり、わたしたちのすべてとなります——マタイ 28:19。

b. 神聖な分与において、恵みは神の恵み、キリストの恵み、その霊である恵みと呼ばれます——Ⅰコリント 15:10. Ⅱコリント 1:12. 8:1, 9. 9:14. 12:9. 13:14. ヘブル 10:29。

2. 三一の神は手順を経ないなら、わたしたちの恵みとなることはできませんでした。父なる神は御子の中に具体化され、御子は命を与える霊として実際化され、その霊は恵みとしてわたしたちの中に入って来て、わたしたちの享受となります——ヨハネ 1:14. Ⅰコリント 15:45 後半. ヘブル 10:29。

3. 恵みとは、わたしたちの中に入って来て、わたしたちの満ち満ちた享受となるキリストです——ヨハネ 1:16. ピリピ 4:23。

4. 恵みとは、神がすべてであり、神がすべてを行ない、神がすべてを与えることを意味します——Ⅰペテロ 5:10。

5. 恵みとは、復活したキリストが命を与える霊と成って、手順を経た三一の神をわたしたちの中にもたらし、わたしたちの命また命の供給となり、わたしたちが復活の中で生きるようにすることです——Ⅰコリント 15:10。

B. 新約の信者たちの、神のエコノミーにおける恵みの下での生活は、手順を経て究極的に完成された三一の神を恵みとして経験する総合的な生活です——ガラテヤ 6:18. ヘブル 4:16. 啓 22:21 :

1. 総合的な生活とは、わたしたちの生活全体が、手順を経てわたしたちの中で恵みとなる三一の神の生活であることを意味します——Ⅱコリント 13:14。

2. クリスチャンの生活は恵みの生活、恵みの経験でなければなりません。わたしたちのクリスチャン生活は、神をわたしたちの恵みとする生活です——1:12。

3. 主の恵みはわたしたちの日常生活のあらゆる面で、わたしたち一人一人と共にあるべきです——啓 22:21。

4. わたしたちは主ご自身を恵みとして享受することを学ぶ必要があります——Ⅱコリント 12:9。

C. 信者たちが神のエコノミーの中で神の恵みを経験することの究極的完成は、キリストのからだとしての召会です——エペソ 1:6-8, 22-23 :

1. わたしたちが生活の中で、また言葉と行為の中で神の恵みを経験することは、キリストのからだを生み出します——6-8, 22-23節. 2:8. 3:2. 4:4, 16, 29。

2. 神の恵みとしてのキリストを享受してはじめて、キリストのからだの実際的な生活が出て来ます——Ⅰコリント 12:27. 15:10. Ⅱコリント 8:9. 12:9. 13:14。

3. キリストの有機的なからだのあらゆる部分は、わたしたちが神のエコノミーの中

で神の恵みを経験した結果です——ヨハネ 1:16. ローマ 5:21. 12:3-8。

- II. わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するための生活をするために、からだを認識する必要があります——4-5節. I コリント 12:12-13, 20, 27. エペソ 1:22-23 :
- A. 神のエコノミーの目標は、御子のためにからだを生み出すことです。このからだは神の願い、すなわち神を表現することとサタンを破壊することを実現します——ローマ 12:4-5. I コリント 12:12, 27. エペソ 1:22-23. 4:4, 16. コロサイ 1:18. 2:19. 創 1:26-28。
- B. 主はキリストのからだの実際が諸地方召会に出現することを、緊急に必要としています。からだの実質的な出現がないなら、主イエスは戻って来ません——ローマ 12:4-5. 16:16. I コリント 1:2. 12:27. エペソ 1:23. 4:16. 5:27, 30. 啓 19:7。
- C. キリストはご自身の中でかしらであり、キリストはわたしたちすべての中でからだです——ローマ 8:10. 12:4-5. II コリント 13:5. I コリント 12:27. エペソ 3:17. 4:15-16. コロサイ 1:18, 27. 2:19。
- D. わたしたちの中での三一の神の働きは、キリストのからだを生み出し建造することです——エペソ 3:16-21. ローマ 8:11. 12:4-5。
- E. からだは神の子供たちの生活と働きの支配する法則です——エペソ 4:4, 16. I コリント 12:4-6, 12-13, 27。
- F. 今日、召会のすべての問題は、キリストのからだを知らないことによります——エペソ 1:17-23 :
1. 最大の問題はからだを認識しないこと、からだを顧慮しないことです——17-23節。
 2. わたしたちが召会、務め、働きの中でどのように振る舞うかは、わたしたちがどの程度までからだを見ているかにかかっています——使徒 22:10. 26:18-19。
- G. わたしたちは命の中でからだを認識する必要があります——I ヨハネ 5:11-12. コロサイ 3:4. 2:19. ローマ 8:2, 6, 10-11. 12:4-5 :
1. キリストのからだは、わたしたちの中の命としてのキリストによって形づくられます。この命はわたしたちとミングリングして、キリストのからだとなります——I ヨハネ 5:11-12. コロサイ 3:4. 1:18. 2:19。
 2. 命の中でからだを認識することは、わたしたちが命と霊的な成長を経験した結果です——I ヨハネ 2:12-14。
 3. からだを認識することは、わたしたちが肉、自己、天然の構成を対処することを必要とします。肉が対処されてはじめて、自己は捨てられ、天然の構成は砕かれて、わたしたちはからだの実際に触れることができます——ガラテヤ 2:20. 5:24. マタイ 16:24. エペソ 4:4-6。
 4. からだを認識することは個人主義を対処することです。からだを認識しない者は個人主義です——I コリント 12:14-22。
- H. わたしたちは実行上、からだを認識する必要があります——20, 27節. 15:58 :
1. 地方召会は、その地方におけるキリストのからだの表現です。一つの宇宙召会（キリストのからだ）は、多くの地方召会（キリストのからだの地方の表現）となります——1:2. 10:32 後半. 12:12-13, 20, 27. ローマ 12:4-5. 16:1. 啓 1:11. 22:16 前半。
 2. わたしたちがからだを認識するなら、わたしたちが考慮することにおいて、からだは第一になり、地方召会は第二になります——ローマ 12:4-5. 16:1, 4, 16。